

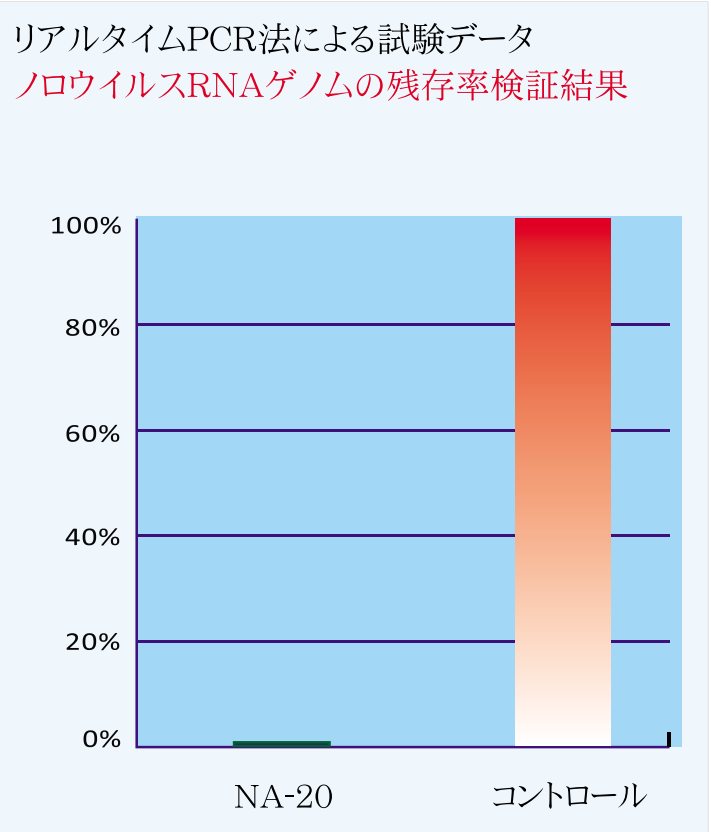
ノロウイルス

試験方法

- ①ウイルス液と消毒液を混合し、2 分間反応させる。
- ②反応液を生理食塩水で希釈し、反応を止める。
- ③ウイルスRNAゲノム抽出
- ④DNase 処理
- ⑤cDNA 合成
- ⑥リアルタイム PCR によるウイルスゲノムの定量測定

結果

ノロウイルスゲノムを 99% 減少させた。



多剤耐性菌 アシネトバクター

使用菌株： *Acinetobacter baumannii*

使用培地： Tryptic Soy Broth Tryptic Soy Agar

消毒剤： NA-20

試験方法： ①一晩培養した菌液（8 ~ 9 log CFU/ml）と消毒液を 1 : 9 で混合する

②室温で 15 秒または 60 秒反応させる

③培地に塗布する

④37℃で一晩培養する

消毒剤	反応時間 (秒)	コロニー数
NA-20	15	<100
NA-20 (2 倍希釈)	15	<100
NA-20	60	<100
NA-20 (2 倍希釈)	60	<100

(n=3)

結果： いずれの条件においてもコロニーは検出されなかった。

2 倍希釈した消毒液も十分な殺菌効果を持つことがわかった。